

RYOBI[®]

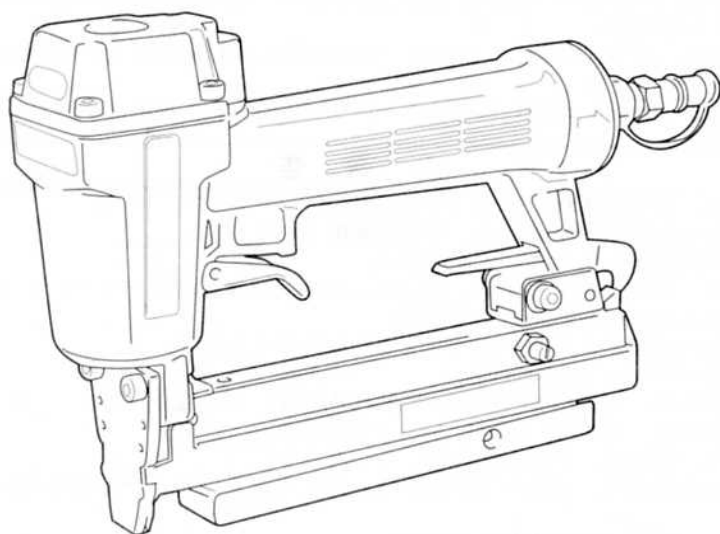
エアタツカ

RT-250

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機的能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



もくじ

- ・安全上のご注意 1～3
- ・各部の名称、仕様 4
- ・付属品、用途、別販売品 4
- ・使用ステープル 5
- ・ご使用前に 6
- ・操作方法 7～9
- ・保守と点検 10

このたびは、リョービエアタッカをお買上げいただきありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの安全に関する注意事項、及び
取扱説明書を最後までよくお読みください。
使用上の注意事項、本体の能力、使用方法など十分にご理解のうえで、正しく安全に
ご使用くださるようお願いいたします。

注意文の「△警告」、「△注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意
味を表します。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があ
ります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。
△警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定さ
れる内容のご注意。

△注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容お
よび物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

「△警告」・「△注意」以外に製品の据付け、操作、メンテナンス等に関する重要な注
意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

■安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を
必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正し
く使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

△ 警 告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - ・ 工具は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
 - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
 - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 子供を近づけないでください。
 - ・ 作業員以外、工具やエアホースに触れさせないでください。
 - ・ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
4. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
 - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してくだ
さい。
5. 作業に合った工具を使用してください。
 - ・ 指定された用途以外に使用しないでください。
6. きちんとした服装で作業してください。
 - ・ だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は着用しないでください。
 - ・ 屋外での作業の場合には、滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
 - ・ 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
7. 保護めがねを使用してください。
 - ・ 作業時は、保護めがねを使用してください。また、周囲の状況に合わせ、ヘルメ
ット、耳栓、防塵マスクなどの保護具を使用してください。

8. エアホースを乱暴に扱わないでください。
 - ・エアホースを持って工具を運んだり、エアホースを熱、油、角のつがった所に近づけないでください。
9. 無理な姿勢で作業をしないでください。
 - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
10. 工具は、注意深く手入れをしてください。
 - ・安全に能率よく作業をしていただくために、注油や付属品の交換を、取扱説明書に従い行なってください。
 - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースがつかないようにしてください。
11. 次の場合は、エアホースを動力源から抜いてください。
 - ・使用しない、または修理する場合。
 - ・ネイル、ステーブル等を交換する場合。
 - ・各部の調整をする場合、その他危険が予想される場合。
12. 乾燥したきれいな圧縮空気のみをご使用ください。
 - ・空気以外の高圧ガスを使用しますと、レギュレーターを凍結させたり、潤滑油との接触、またはネイル打込み時の火花などにより、爆発する恐れがあります。
13. 指定の圧力範囲でご使用ください。
 - ・銘板、取扱説明書に指定された範囲の圧力より高い圧力を接続すると、本体の破壊によりけがをすることがあります。
14. 使用前に各ネジ類がゆるんでいないか、必ず確認してください。
 - ・締付けが不完全な状態で使用しますと、機械が破損してけがの原因になります。
15. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
 - ・工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
 - ・疲れている場合は、使用しないでください。
16. 破損した部分がないか点検してください。
 - ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
 - ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
 - ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。
17. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
 - ・本取扱説明書およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。
18. 工具の修理は、専門店に依頼してください。
 - ・修理は、必ずお買上げの販売店またはリョービ販売営業所にお申し付けください。修理の知識や技術のない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県等の条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

エアタッカご使用に際して

先にエア工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、エアタッカをご使用の際には、さらにつぎに述べる警告・注意事項を守ってください。

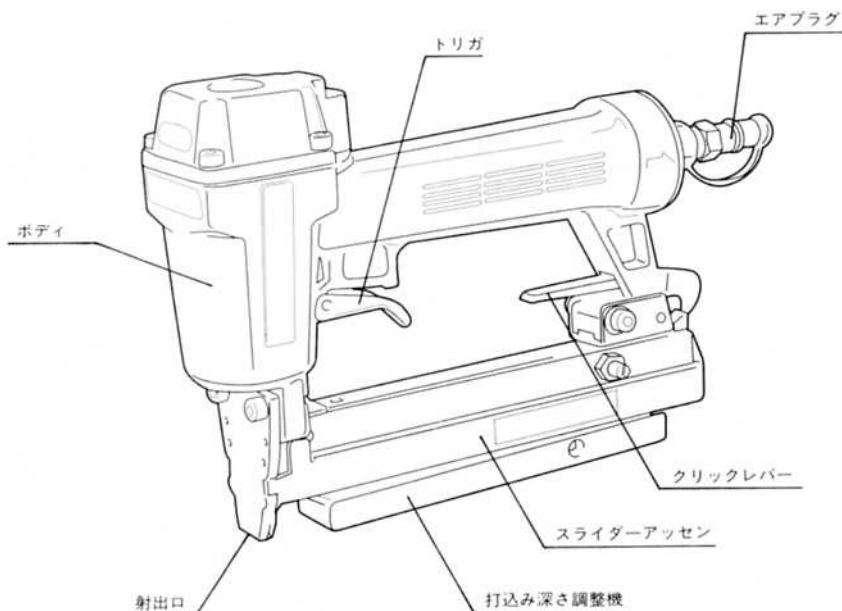
△ 警 告

1. いかなる場合にも、ステーブル射出口を人体には向けないでください。
 - ・ けがの原因になります。
2. 保護めがねを使用してください。
 - ・ 排気圧により舞上がった粉塵や、打損じにより跳返ったステーブルが目に入る恐れがあります。
 - ・ 保護めがねは、JIS規格で認められたもの、または、それに準ずるものをご使用ください。
3. 薄板、柔い板に釘を打込む場合は、裏側に人、身体の一部がないことを確認した上で作業を行なってください。
 - ・ ステーブルがつき抜けることがあります、けがの原因になります。
4. 材料の端には打たないでください。
 - ・ 釘がそれたり、木材片が飛散することがあり危険です。
 - ・ ステーブルがそれたり、木材片が飛散することがあり危険です。
5. 一度打込んだ釘の上に打込まないでください。
 - ・ 釘がはね返ったり、それる恐れがあり、けがの原因になります。
6. 打込み終了時や、節等に当たった場合に、機体が打込みの反発ではね返ることがありますので、顔等を機体にあまり近づけないでください。
 - ・ けがの原因になります。
7. 作業を行わない時、ステーブル装填、点検及び修理の際には、必ずエアカブラを外してください。
 - ・ 思わぬステーブルの打出しによる、けがの原因になります。
8. 本取扱説明書およびリョービパワーツールカタログに記載されているネイル以外は使用しないでください。
 - ・ 釘づまりや思わぬ事故によるけがの原因となることがあります。
9. 使用前には、安全装置が正常に作動するか必ず確認してください。
 - ・ 安全装置が正常に作動しない場合は、直ちに使用を中止して、お買上げ販売店又はリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
 - ・ 安全装置が作動不良の状態で使用しますと、けがの原因になります。
10. エアホース接続の時は、射出口を人に向けたり、トリガに指をかけたりしないでください。
 - ・ けがの原因になります。

△ 注 意

1. 安全な作業を行なうために、ヘルメット、作業シューズを使用するなど、周囲の環境に合わせて保護具を整えてください。
2. 使用後は必ず、ステーブルを全部抜取って保管してください。
3. ステーブル打込み時以外は、トリガーに触れないでください。
 - ・ けがの原因になります。

■各部の名称



■仕様

モデル	R T250		
	- 4 (T), (H)	- 7 (T), (H)	- 10 (T), (H)
動力方式	ピストン往復運動		
ステープル装填数	100本(一連)		
発射方式	シングルファイヤ(タッチファイヤ)		
使用空気圧	0.39~0.69MPa (4~7 kgf/cm ²)		
使用ホース内径	6mm以上		
製品寸法(mm)	250×165×53(長さ×高さ×巾)		
使用オイル	タービン油#90		
使用ステープル	(足長)13~25mm		
製品重量	1.1kg		

※モデル名の(-)以下は次の仕様を表わします。

R T250 4 (T), (H)

└─ 打込み深さ調整機付
└─ タッチファイアタイプ
└─ ステープル肩巾

■付属品

- 油さし (オイル30ml入)..... 1
- 六角棒レンチ 4mm..... 1
- エアプラグ (本体付)..... 1

■別販売品

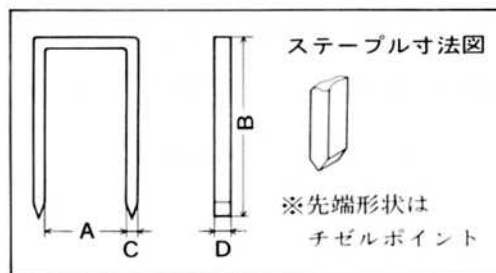
- 保護めがね

■用途

- プレハブ用ベニヤ打ち・建築用ラス止め・天井デックス張り・サイディング・化粧合板張り・各種ボード止め等一般建築用。

■使用ステープル

ステープル呼称	A	B	C	D	適用機種	ステープル呼称	A	B	C	D	適用機種
FSA0413BAA		13			0725	FSB0713BAA		13			RT250 7 (T・H)
FSA0416BAA		16				FSB0716BAA		16			
FSA0419BAA						FSB0719BAA		19			
FSA0419BAH						FSB0722BAA	7		0.8	1.3	
FSA0419BAF		19				FSB0722BSA		22			
FSA0419BAJ						FSB0723BAA					
FSA0419BSA						FSB0725BSA		25			
FSA0422BAA											
FSA0422BAH	4		0.6	1.2							
FSA0422BAF		22				FSA1013BAA		13			RT250 10 (T・H)
FSA0422BAJ						FSA1016BAA		16			
FSA0422BSA						FSA1019BAA		19			
FSA0425BAA						FSA1019BSA	10		0.6	1.2	
FSA0425BAH						FSA1022BAA		22			
FSA0425BAF		25				FSA1022BSA					
FSA0425BAJ						FSA1025BAA					
FSA0425BSA						FSA1025BSA		25			



※ステープル呼称の表示は次の仕様を表わします。

例 FSA0425BAA

Hはカラー(白)
 Fはカラー(茶)
 Jはカラー(ベージュ)
 Sはステンレス

ステープル寸法

04 25
 ↓ ↓
 ステープル足長さ
 ステープル肩巾
 (内寸法)

■ご使用前に

●使用空気圧の確認・調整

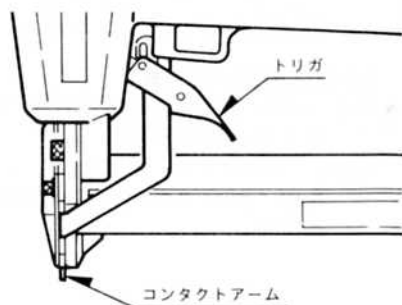
- 本機の使用空気圧は0.39～0.69MPa(4～7kgf/cm²)ですので、この範囲内で使用してください。
- 打込み対象材の硬軟、使用ステーブルの長短により、若干使用圧力が異なりますので、作業前にテスト打ちを行ない、ステーブルの頭が打込み対象材と面一になるようにレギュレーターで圧力調整を行なってください。
- (注)・本機の使用空気圧は0.39～0.69MPa(4～7kgf/cm²)です。0.78MPa(8kgf/cm²)以上の高圧での使用は避けてください。
- ・テスト打ちは必ず作業面に向けて行なってください。ステーブルを装填しないで空打ちした場合は、バンパの摩耗をまねく恐れがありますので注意してください。

●安全装置



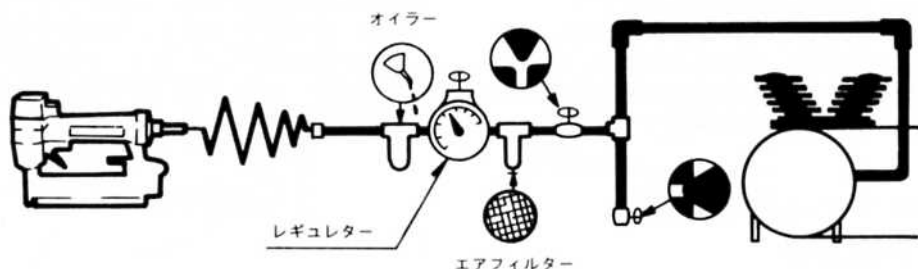
- ・ご使用前には、安全装置が正常に作動するか必ず確認してください。安全装置が作動不良の状態で使用しますと、けがの原因になります。

- タッチファイア式では「トリガを引く」「コンタクトアームを対象物に当てる」という2つの動作が重なって初めてステーブルが発射される構造となっております。トリガを引いただけではステーブルは発射されず、又コンタクトアームを当てただけでも発射されません。



●配管上の注意

- 本機的能力を十分に発揮出来るコンプレッサーをご使用ください。(高压ガス等は絶対に使用しないでください。)
- エアホースは6mm以上のものを使用し、長すぎると圧力低下の原因となりますので出来るだけ短くしてください。
- 本機を最適な条件で使用する為にエアフィルター、レギュレーター、オイルの3点エアセットを取付けるようにおすすめします。



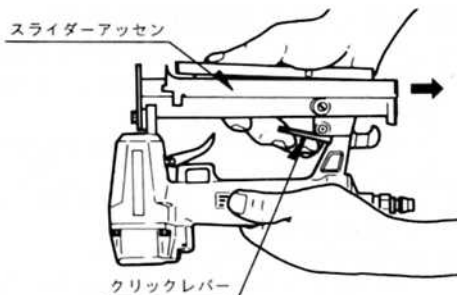
■操作方法

●ステープルの装填

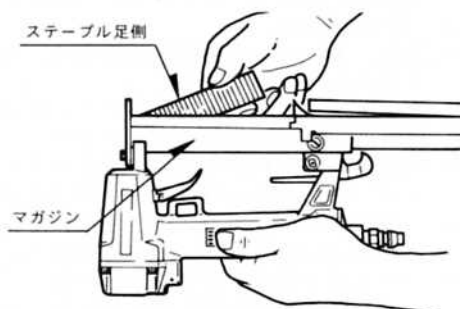


警告
・ステープルの装填の時は必ずエア
カブラを外して行なってください。
けがの原因になります。

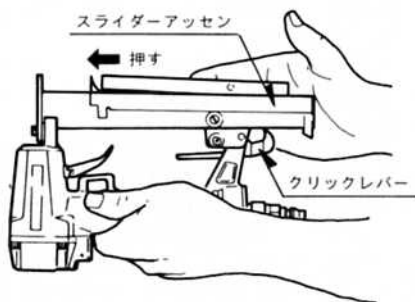
- クリックレバーをにぎり、スライダーアッセンを(→)方向に引きます。



- ステープルの足側を上にしてマガジンに入れます。



- スライダーアッセンを押し、クリックレバーで確実に固定します。

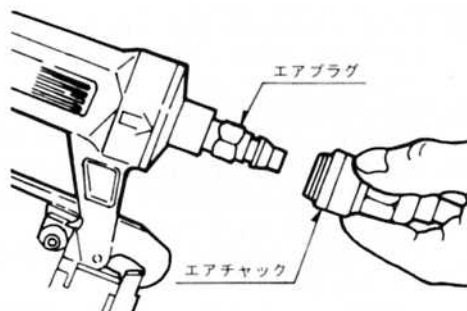


●エアホースの接続



- ・エアホース接続の時は、射出口を人に向けたり、トリガーに指をかけたらしないでください。けがの原因になります。

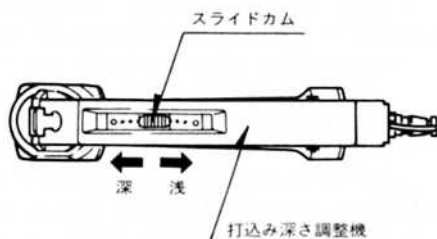
- エアプラグにエアチャックを接続します。



●打込み深さの調整

(打込み深さ調整機付タイプ)

- 材料の硬軟により、ステープルの頭が材料に対して沈む場合がありますので、打込み深さ調整機により、ステープルの頭が沈まないようにしてください。
- 打込み深さ調整機の調整は底面のスライドカムで行なってください。
- 通常の方法では射出口と打込み深さ調整板が同一高さになるように調整し、材料が柔くなるに従って射出口が材料から離れるように調整してください。
- スライドカムを前方に押すと射出口は材料に近づき、後方に引くと離れます。



●打込み方法

△ 警 告

- ・指定の圧力範囲でご使用ください。銘板、取扱説明書に指定された範囲の圧力より高い圧力を接続すると、本体の破壊によりけがをすることがあります。
- ・いかなる場合にも、射出口を人体には向けないでください。けがの原因になります。
- ・保護めがねを使用してください。排気圧により舞上がった粉塵や、打損じにより跳返ったステープルが目に入る恐れがあります。保護めがねは J I S 規格で認められたものまたはそれに準ずるものをご使用ください。
- ・薄板、柔い板にステープルを打込む場合は、裏側に人、身体の一部がないことを確認した上で作業を行なってください。ステープルがつき抜けることがあります。けがの原因になります。
- ・材料の端には打たないでください。ステープルがそれたり、木材片が飛散することがあり危険です。
- ・一度打込んだステープルの上に打込みますと、ステープルづまりの原因となるばかりでなく、ステープルがはね返ったり、それる恐れがあり、けがの原因になります。
- ・打込み終了時や、節等に当たった場合に、機体が打込みの反発ではね返ることがありますので、顔等を機体にあまり近づけすぎないでください。けがの原因になります。

(シングルファイア式)

- ステープルを打込む箇所に射出口を当て、トリガを引きます。
- (注)シングルファイア式では、トリガを引くだけでステープルが発射されます。



(タッチファイア式)

- タッチファイア式で、ステープルを早く打込みたい時は、トリガを引いた状態でコンタクトアームを材料に打ち当てれば、ステープルは発射されますので、連続作業が簡単に行なえます。
- 高い所で作業を行なう場合には、ホースが不用意に引っぱられたり、引っかかるのを防止する為、作業場近くにホースの固定箇所を設けてください。

- 傾斜面に打込む場合には下から上に向かって作業を行なってください。逆方向に作業を行なう場合は足を踏み外す危険があります。
- 垂直面に打込む場合には上から下に向かって、水平面では前進しながら自分より近い方から遠い方に向かって作業してください。安全で疲れが少なく、能率的に作業ができます。

■保守と点検



- 保守、点検、部品交換等のお手入れの前にエアカブラを外してください。けがの原因になります。

●各部取付ネジの点検

- ネジなどゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

●使用後の手入れ

- ご使用後は、エアチェックをはずし本機エアプラグ部より指定オイル（タービン油 #90）を2～3滴注油してください。
- ドライバー、ガイド部及び本体各部を清掃してください。
- 本機の性能を維持する為に、定期的に点検を行なってください。特にOリング類、パンパ、ドライバーは長時間使用しますと摩耗してきます。定期点検をお買上げ販売店に依頼されることをおすすめします。
- 油污れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。

●作業後の保管

- 高温にならない、乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下の恐れのあるところはさけてください。

●修理について

- 本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合にはお買上げの販売店にご用命ください。
- その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明の点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観等を変更することがあります。

RYOBI

発売元

リョービ販売株式会社

製造元

リョービ株式会社